

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2008年7月30日

90号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-3 1-8

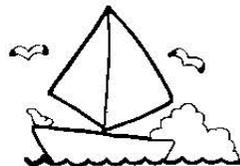
活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

活動ホームしもだ20周年記念事業終わる

いつもの力を発揮して！



“ものみなしおれるような日差しが好きだ”などと言っていたのは、どこの誰でしたでしょうか。ここ一、二年は、木綿の長袖しか着ることができず、ひたすら夏の湿疹の季節をやり過ごすために、ストレスと戦っています。戦いというのは、これまたストレスの塊なのですが....

* * *

ここ数ヶ月は、身体障害者地域活動ホームしもだの20周年記念事業や、NPOの事で結構忙しくしていましたが、みんなで何とか乗り切ったのは、いつか聞いたY先輩の「やり抜きますわよ！」という言葉が、いつも耳のそばで聞こえていたからかもしれません。

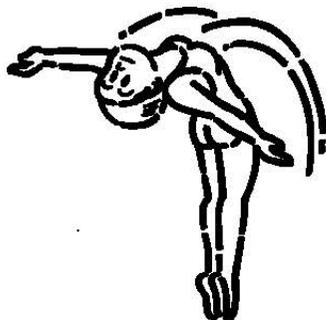
20周年記念事業は、全体ではあまりほめられない手落ちなどもありましたが、地域で生きる障害者を支える会で毎年のようにイベントを経験してきた私たちには、自然と身についたセンスがあって、家族会の組織的な動きにずいぶんと救われたと思います。

「仕事は、たくさんやるのが勝ちよ」とよく若い職員たちを励ましてきましたが、いつも一方では、「ちょっとおためごかしかな」などと気も引けていました。

でもこの度、やっぱりそれは、ある意味正しかったかなとも思っています。

別に何に勝たなくてもいいのですが、苦勞すればおのずと身にもつくという事です。し

なくてもよい苦勞をする必要はありませんし、体力的なゆとりはありませんが、いつも前向きに取り組んできた会員の皆さんの力が発揮された事に、心より敬意を表します。



さて、梅雨明けとともに、厳しい暑さの中体調をくずす会員もいます。皆様くれぐれもお身体にご留意の上、夏休みをお迎えくださいますよう....

8月は、「たわわ」もお休みをいただきます。



ここは いろいろな人が訪れるところ。
四方山話の中にふっと、心の内を漏らしたり...

談話室

月曜日は、毎週1度の家族会員が集まる活動日です。
知的障害者のJ君を自立させた母の気持ちをひろいました。F婦人は、今一人暮らしです。

* Fさん、無理しなくていいのよ。こう暑いと若い人たちだって疲れるんだから...

□そうですね、もうふらふらという感じ。でも調子のいいときは、出来るだけ出てこよと思うんですよ。疲れたら寝ています。一人ですから。食事なんかもあまり進みませんしね。その代わりに、週末にJ郎が帰ってくるときは、もう、いろいろお料理をつくりまします。たくさん作っちゃって...後の2~3日はそれを食べなきゃならないなんてほどね、ホッホッホ。

*じゃあ、J郎君のほうで、「お袋の様子を見に帰らなきゃ...」という感じね。

□そうですね。そう思っているかも... 家ではまったく手がかからないんですよ。グループホームに入ってからしっかりしましたね。なんというか独立心が出来たみたいもう、一人のおとこですね。時間の観念も出てきて、私が起きなさいとか、もう寝なさいとかいうこともなくなりました。きる物もちゃんとしますし...

*あらそう、グループホームでは結構ケアが必要みたいよ、お風呂なんかで。

□まあ、あれで(私に)気を使ってるのかしら。わたくしもしっかりしなくてはとは思っていますけど。もし変だったらどうぞそう言って下さいね。自分にはわからないのでしょうから。例えば変な格好をしていたら遠慮なくそう言ってね。

—— 家族たちも、お互いに気配りをしなければならない年齢になりました。どこまでも助け合って頑張りましょう。無理なく、のんびりと...

ご入会 ご継続 ありがとうございます

〔敬称略〕

《会員》

鈴木 仁市 山口美和子 山口 邦雄 門屋 佳子

《賛助会員》

森 興理子 山本 暁子 吉田 隆

(20年7月27現在)



めがねの声

■ 「しもだ」が私に合っている...

去年の秋に 私たちの通う『活動ホームしもだ』が 出来て20年になりました。この前ラポールを借りて20周年の記念式典をしました。アットいうまの20年。速いなと思ったり、長く居たんだな... とも思います。私が、県立中原養護学校を卒業して もう20年ということになります。

* * *

今度も、私のことを 書きます。

私の家は、学校から遠く 車で40分や45分ぐらいのところで、毎朝 母が送迎をしていました。学校は、川崎市の 中原区にありました。横浜市の人あまりいませんでした。港北区の人たちと学童の訓練会をつくりました。そのうちに『活動ホームともだちの丘』が出来て、そこで少し活動していましたが、だんだん混んできて 私たちは、学校を卒業しても その作業所には 入れないので もうひとつ作ることにしました。それが『活動ホームしもだ』でした。また 遠くでした。

「家からもっと近い活動ホームもあるし、活動ホームしもだ までの間にもともだちの丘もあるのに 日吉の先まで行くのね」と冗談を言いながら通います。

私は時々「みんなは 家が近くていいな。」と思ってきましたが、しもだは 私にとっては 学校の訓練や七沢の（県立七沢身体障害者更生施設）つづきで いろいろなことが出来たところです。パソコンも覚えたり、電動車いすで 一人で電車で移動する事もおぼえました。私の作品展も開くようになりました。青年クラブで 生活の訓練やいろいろな事を体験しています。みんな小さい頃には 夢にも思っていないことでした。ほんとにたくさんの人たちの助けがあっただけです。

この前学校の頃の先生が、会いにきて下さいました。私の体を見て「まだしっかりしているね。いろいろ頑張っているのね。みんなも とても元気だしよかった」といってくださってました。私は、とても嬉しかったです。今も 毎日身体の機能くんれんを続けているからだと思います。

ときどき悩む事もあるけれど、しもだが とても私に合っている。それで20年経ってきたのだと思います。

いまは、グループホームで 近くなつたし「週末に過ごす家が 少し遠いのもいいのかな」と思っています。

* * *

とても残念な事は、長い時間かかって 協力していただいて 出来るようになったのに、電動車いすで 電車に乗る事がほとんどなくなりました。でも道がよくなれば、また出かけられるようにもなると思っています。

これから 何ができるようになるのか どう生きていけるのか 楽しみです。

大原 友子

今月のよつばホーム

よつばホーム

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

7月11日は活動ホームしもだ20周年記念式典がありました。今回は式典前日のグループホームの様子を紹介します。

帰宅後はいつものようにティータイムです。すると「明日ラポールシアターだよ！」と花岡さん。「明日ラポールシアターで何があるんですか？」とたずねると、「歌ってくるから見に来てよ♪」と。「何歌うんですか？」と聞いたら、「へのへのもへじ〜♪ へのへのもへじ〜♪」と本番さながらのリハーサルが始まったのでしたo(*^▽^*)o

それと同時に次郎さんの部屋からは口笛が聞こえてきます。次郎さんもリハーサルしているのか、いつもの口笛なのか・・・。(;^ω^A

勢津子さんは温かくそれを見守りながら、それをBGMにて記念式典に着ていく洋服をチェックしています。

準備のかいあってか、歌は無事に終わったとのことでした(*^°)v ㇏㇏㇏

※ ※ ※ ※ ※

8/1に神奈川新聞花火大会がありました。なんと！よつばホームのリビングからも見ることができました。部屋の明かりを消して、入居者・スタッフしばらく見入っていました。

第2よつばホーム

『異常気象』とか『記録的何とか』など、いったいいつが『通常気象』なんだろう...と思うこの頃、横浜にも雷様がやってきた。午前中の痛い程のお日様に誘われて洗濯物を屋外に干し退勤。忍び寄る雷雲は洗濯物を全滅にしてくれました(T_T)

同じ夜、入居者が就寝しようと寝床に入るとまたしても激しい雷雨！みんな音と気配にかなり不安な様子...。雷雨が終わるとみんなぐっすり（ぐったり）...。スタッフウ〜に出来ることは雷様におへそをとられないように隠してあげること位でした。

※ ※ ※ ※ ※

「Happy birthday to you〜♪ Happy birthday to you〜♪

Happy birthday dear けんいちさん〜♪ Happy birthday to you〜♪♪」

うれしはずかしそうにロウソクの火とみんなの顔を見つめているのは健市さん。

そう、7/23は阿部さんの誕生日です☆ 部屋を暗くしていよいよろうそくの火を消す瞬間ですが・・・、やっぱりみんなからの注目は恥ずかしそうです。(*^-^)=o

そしてペロリとケーキを平らげ、やっぱり嬉しそうです♪ °☆..:*.°☆ 祝 ☆°.°*..°☆°

